

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-30296(P2006-30296A)

【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-204920(P2004-204920)

【国際特許分類】

**G 02 B 21/00 (2006.01)**

**G 02 B 26/10 (2006.01)**

【F I】

G 02 B 21/00

G 02 B 26/10 104Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月29日(2007.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、該光源からの光を伝達する光伝達部材と、該光伝達部材により伝達された光を被検体に照射する装置本体と、被検体から装置本体および光伝達部材を介して戻る戻り光を検出する光検出器とを備え、前記装置本体に、該光伝達部材によって伝達された光を平行光にするコリメート光学系と、コリメート光学系から発せられた平行光を90°より小さい偏向角度で偏向し、かつ、被検体において走査させる走査ミラーと、該走査ミラーによって走査された光を被検体に集光させる集光光学系と、該集光光学系と前記走査ミラーとの間に配置される瞳投影光学系とが備えられている光走査型顕微鏡装置。

【請求項2】

前記コリメート光学系、走査ミラーおよび瞳投影光学系を取り付ける基準部材を備える請求項1に記載の光走査型顕微鏡装置。

【請求項3】

基準部材に、前記走査ミラーを、その原点位置において90°より小さい偏向角度となるように取り付ける取付面が設けられている請求項2に記載の光走査型顕微鏡装置。

【請求項4】

前記走査ミラーによる走査方向を示す走査方向表示を備える請求項1から請求項3のいずれかに記載の光走査型顕微鏡装置。

【請求項5】

前記コリメート光学系を光軸方向に沿って変位させるステッピングモータを備える請求項1に記載の光走査型顕微鏡装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

さらに、上記発明においては、前記走査ミラーによる走査方向を示す走査方向表示を備

えることとしてもよい。走査ミラーにおいて $90^\circ$ 偏向する場合には、装置本体の幅方向および長さ方向と、走査ミラーによる走査方向とを一致させることができるが、 $90^\circ$ より小さい角度で偏向する場合には、装置本体の幅方向および長さ方向と走査ミラーによる走査方向とを一致させることができ難である。そこで、走査方向表示を設けることにより、光検出器により検出された被検体の画像がどの方向を向いているのかを表示することができる。また、上記発明においては、前記コリメート光学系を光軸方向に沿って変位させるステッピングモータを備えることとしてもよい。このようにすることで、ステッピングモータの作動によりコリメート光学系を光軸方向に沿って変位させ、集光光学系の焦点位置を光軸方向に移動させることができる。